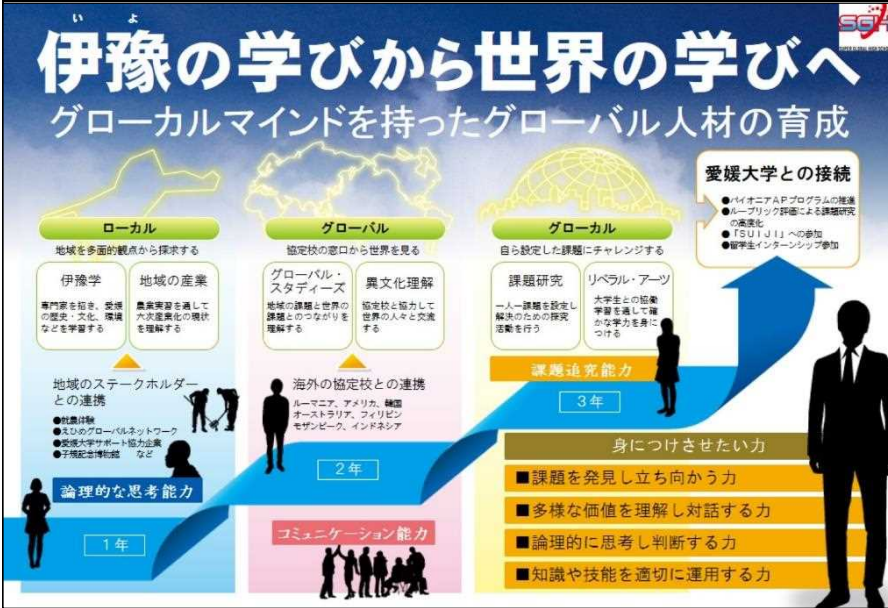


校名：愛媛大学附属高等学校

キーワード：SGH， 高大連携教育プログラム， 高大接続



SGH(スーパーグローバルハイスクール)

本校の目指すグローバル人材とは、地域の課題と世界の課題を統合的に捉えるグローバルな視点を持ち、社会課題に対して失敗を恐れずに挑戦し続ける人材を指す。そうした人材は、論理的な思考力、コミュニケーション能力、課題追究能力を兼ね備えている必要がある。そこで、グローバル化を推進する愛媛大学や地域にあってグローバルな展開をしている企業などと連携し、新たな教育プログラムの開発・実践を行っていくことを目的とする。

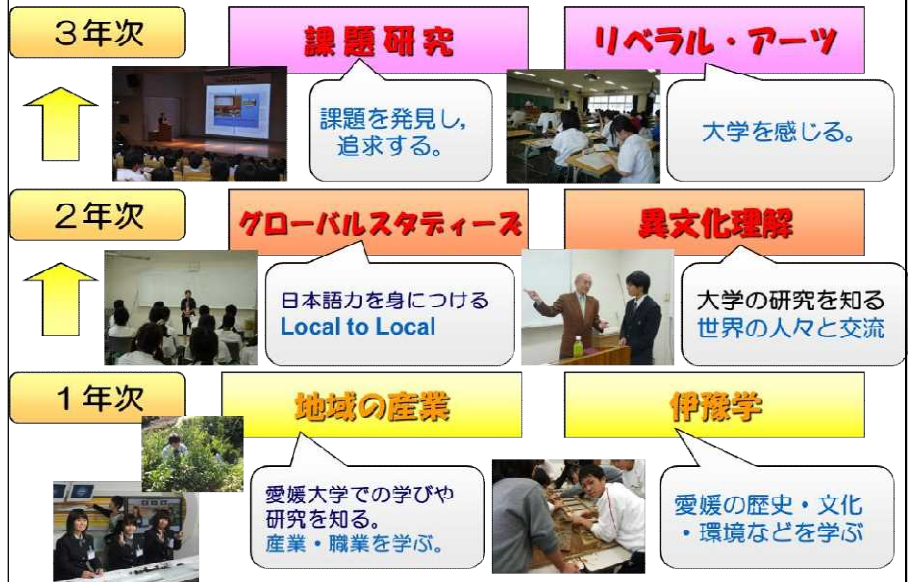
本校を含む県下3校のSGH及び2校のSSHからなる「愛媛スーパーハイスクールコンソーシアム」により、ネットワークを構築するとともに、本コンソーシアムにおいて先導的役割を担い、運営に携わっている。また、県教育委員会が主催する本コンソーシアム発表会において成果発表を行い、県下公立・私立学校に対する啓発を行っている。

高大連携教育プログラム

本校が人材育成のために最も重要であると考えていることは、学びに対するモチベーションの高さを身に付けさせることである。そのために、学ぶことの楽しさをどのように伝えることができるのかを大学と高校が協力して研究・実践するものである。確かな学力を担保しながら、自己発見をするためのカリキュラム作成を大学と高校が協力して取り組むための方策を検討することで、新たな高大連携の在り方を提起していきたいと考えている。

愛媛大学の全ての学部・機構との連携が可能であり、全学組織としての附属高等学校連携委員会が設置されている。本委員会において設計・構築された高大連携教育プログラムは、全人的教育の成果として、大学の要求する「学びに対する高いモチベーション」「確かな学力」「地域を担う意欲」を持ち合わせた生徒を育成することを目指すものである。

高大連携教育プログラム



愛媛大学 テーマⅢ(高大接続)

大学教育の到達点の高度化

～早期の”動機付け”から”深い学び”へ～



大学教育再生プログラム(高大接続)

具体的には、愛媛大学と本校が取り組んできた高大接続教育モデルプログラムの開発と教学IR (Institutional Research) による効果測定を行い、新たな高大接続のモデル構築を行っている。大学・高校教育の円滑な接続方法の研究・開発を進展させ、高校段階で「学びへの意欲」を高めることによって大学における「深い学び」を確保し、大学教育の到達点の高度化を図る。

左図の三つの取組を通して、高大接続事業による問題発見・解決力育成の成果を深化発展させ、「幅広い教養と深い理解」「学び続ける意欲」「知の運用能力」を育成する。また、教学IRによって大学入学後も接続教育の効果測定を行い、高校及び大学教育の質的向上を図る。さらに、本取組で得た知見や評価方法を、能力・意欲・適性等を多面的・総合的に評価・判定する新入試制度の導入においても活用することとしている。

問い合わせ先：TEL：089-946-9911， e-mail：fhi@4qhi.agr.ehime-u.ac.jp